

プレカット加工施設を増設し、地域材利用を拡大

1 多様化するニーズへの対応

けせんプレカット事業協同組合（住田町）は、地域材の利用拡大や多様化するニーズに対応するため、平成24年度に補助事業を活用し、2×4プレカットラインと在来金物プレカットラインを陸前高田工場に増設しました。

在来金物プレカットは、大断面の加工効率が向上し、多様なパネル加工までを工場で行うことにより、現場施工期間の短縮等に貢献しています。

更に、新たな加工施設の整備により、非健常者を含む新たな雇用を生み出しています。

2 施設概要

(1) 2×4プレカットライン

2×4部材に、新たに地域材を利用するため、2×4プレカットラインを1ライン増設しました。（図-1）

(2) 在来金物プレカットライン

東日本大震災津波の復興や非住宅分野の需要が増加していることから、地域材の安定供給体制を拡充するため、機械により大断面加工等が可能な在来金物工法プレカットラインを2ライン増設しました。（図-2）

3 施設利用状況等

従来の2×4工法では、SPFなど外材を利用していたスタッド材に、賃貸住宅では東日本で初めて地域材の供給を開始しています。

また、ラミナを被災工場から購入することにより、工場の早期自立を支援しています。



図-1 2×4プレカットライン
（右上は、パネル製品）



図-2 在来金物プレカットライン
（左上は、パネルの仕上作業中）